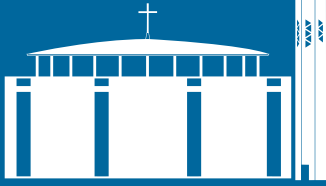


12・1月



カトリック麹町教会

magis

マジス = 「より、もっと、さらに」

教会テーマ

さあ出かけよう 心をつないで イエスとともに ～希望に錨を下ろして～

主のご降誕おめでとうございます

世界にはじける

喜び・平和・希望

主任司祭
高祖 敏明

「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる」(ルカ2:10)

救い主イエスは旅先で生まれ、布にくるまれて飼い葉桶に寝かされました。

私たち人間も、この世に生まれて人生という旅に出ます。飼い葉桶は私たちの家である地球、私たちの住む世界の比喩。布にくるまれた幼子は、成人後、与えられた使命を十字架の上で全うした後、亜麻布にくるまれます。布を墓に残し、新たな命が大きな喜びと平和と希望を伴って、世界にはじけるのです。

助任司祭
ボニー・
ジエームス

皆さん、クリスマスおめでとうございます！

今年のクリスマスの特徴はキリストの誕生から

2025年を祝う「聖年」での降誕祭にあります。

天使カブリエルから「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」(ルカ2:10-11)という人類への最大の希望のお知らせを頂いてから2025年となります。

これに合わせて宣言された「聖年の祝祭」は、2024年クリスマススイブに始まり、2026年1月6日の主の公現の祭日をもって終わります。「聖年の祝祭」のテーマは「希望の巡礼者」と定められていますが、戦争や絶望など様々な不安の中で生きるなかで、神の子であるイエスの誕生こそが私たちの最大の希望であることを再確認して生きるように祈りたいと思います。

助任司祭
グエン・
タン・ニャー

クリスマスと新年の喜びを申し上げます

「今日ダビデの町で、あ

なたがたのために救い主がお生まれになった」(ルカ2:11)

イエスは確かに2000年余り前、この地上に誕生しました。しかし、毎年のクリスマスでイエスのご降誕を祝う時、私たちはただ単に過去の出来事として祝っていないでしょうか。イエスは毎日、そして、今日も、私たちの心の中に誕生してくれます。イエスは私たち人間とともにずっとずっといてくれると言われたからです。どうか今年のクリスマス、そして毎日の生活の中、イエスとともに生きることができまよう。

助任司祭
サトル・
サトウ

2025聖年のクリスマス

2025年のクリスマスを一緒に迎えながら、希望の道を歩み続けて新年を迎えましよう。

聖年の間、教会は教皇フランシスコを見送り、新しい教皇レオ十四世の指導を受け、今年もクリスマスに、良い「たより」を世界に絶え

間なく述べ伝えま。

「主は私たちと共にいる」

今年も主イエスの生まれた国に平和の希望が芽生えたようです。

小さな、弱い、壊れやすい平和ですが、あなたは我が平和の君であり、クリスマスのご賜物です。

心から皆様に、クリスマスおめでとうございます！

主のご降誕

おめでとうございます

助任司祭
柴田 潔

「もしも3日間だけ目が見えたなら」よりヘレン・ケラー著

もしも奇跡が起きて3日間だけ目が見えたら。1日目、親愛なるサリバン先生のお顔を記憶に刻みたい。2日目、博物館、美術館、芸術を楽しむに劇場に行きたい。3日目は、労働の世界を見にニューヨークに出かけたい。夜が来ると再び長い闇の世界に戻ります。

もし仮に、あなたが



3日間だけ目が見えたら…今までとは違うものの見方…宝物に気づくでしょう。

クリスマス・新年 おめでとうございます 協力司祭

ジェリー・クスマノ

毎年、クリスマスと新年がやって来ると小さい時のことを思い出します。

サンタクロースのプレゼントを楽しみにしていましたが、私の家の近くにはとても貧しい家族がいました。その家の子どもは男の子で知的障害者、

お父さんはアルコール依存症で無職でした。

ある日 曜日、私たち家族が車で教会に行く時、その家のお母さんが歩いているところに出会いました。私の母はその家の事情と苦勞をよ

くわかっていたので、彼女

に温かく声をかけて車に乗せました。
私にとって、これこそ Christmas Spirit です。

クリスマスと新年 おめでとうございます 協力司祭

ハビエル・ガラダ

キリストの平和は、武器の音やけんかの大声が聞こえない状態だけではなく、話し合いと愛から生まれる平和です。

ところが、人間のエゴと高慢は話し合いの妨げとなります。しかも、それは取り除かれない妨げです。

しかし、愛を高めれば、その妨げを越えて、話し合いによるキリストの平和が実現されるでしょう。

心に光と希望を 協力司祭

グエン・ヴァン・テー

主のご降誕を心よりお祝い申し上げます。

闇の中に來られた幼子イエスの光が、疲れ傷つい

た心にやさしく触れ、希望といやしの扉を開いてくださいますように。
互いにゆるし合い、信仰を新たにし、主とともに2026年を歩む恵みをお与えください。

ご家族と皆さまに、主の平安と喜びが注がれ、心が光と希望の中で歩めますように。

新しい年、この恵みの年に、主の愛の中で成長し、愛を分かち合いながら歩めますように。

もつと愛を 協力司祭

関根 悦雄

幼きイエスの誕生と成長のためには大きな「愛」が必要でした。イエスだけではなく私たち一人ひとりも、すべての人が「愛」なしには生存し成長することができません。

残念ながら私たちが生きるこの世界では、この「愛」のやり取りが少なくなってしまうのではないのでしょうか。そこでまず私たちが意を決して、私たちの周りの人々

に「愛」を与え、私たちも多くの人からの「愛」をもつと受けるように努めたいのでないかと思っています。

どうぞよいお年を！

クリスマス おめでとうございます 協力司祭

マヌエル・シルゴ

「いと高きところには、神に栄光。地には、御心にかなう人々に平和」(ルカ 2:14)

クリスマスおめでとうございます。

Merry Christmas!
¡Feliz Navidad!

神様の祝福と平和が皆さんの上に豊かにありますように、心よりお祈り申し上げます。

Merry Christmas & Happy New Year! 神学生

アントニオ・ソアレス

主のご降誕の喜びを祝い、新しい年を迎えるにあたり、希望の聖年の恵

教会報 MAGIS 12月 1 月合併号

† クリスマスメッセージ Family of St. Ignatius から	P3
† 2025 年 教会祭 「ひとつになろう」 各言語共同体とともに	P4~5
† 教会行事報告	P5
† (教会活動連絡会便り) ~行事連絡会~	P6



恵みに満ちたこの特別な時、決して尽きることのないキリストの愛を信頼しながら、ともにその光へと歩んでまいりましょう。

みが皆さまの心に新たな信仰と勇氣、そして平和をもたらしてくれまうように。

【12月～1月の共同祈願】

† 待降節～12月21日(日)

待降節は「主の恵みを待つ」ときです。
一人ひとりが願う恵みをもち、静かに心を整え、
イエス様をお迎えすることができますように。

† 12月28日(日)聖家族の日

今年も家族と過ごすことができたことに感謝します。
うれしいときも、苦しいときも、
幼いイエス様を囲んだ聖家族を模範にして、
これからも周りの人々と接することができますように。

† 12月24日、25日(クリスマス)

主の降誕の喜びを、日常のささやかな言葉や
行いを通して身近な人々に伝え、
希望を分かち合うことができますように。

† 2026年1月1日～1月25日(日)

新しい年を迎えて祈ります。
「希望の巡礼者」として多くの恵みをいただいた私たちが、
これからも感謝の心を持ち、たとえ苦難にあったとしても
その先にある希望をもって歩むことができますように。

Family of St. Ignatius から



▲英語圏から



▲ベトナム共同体から



▲スペイン語圏から

¡ FELIZ NAVIDAD Y
Año NUEVO 2026!

Que el Niño Jesús traiga a su corazón y a
sus hogares su paz y amor, y que la
Virgen María los acompañe cada día en
este año que comienza.

Les deseamos de todo corazón:

El Centro Loyola y la
Comunidad Hispanohablante.



▲ポーランド語グループから



▲ポルトガル語グループから



▲インドネシア共同体から

2025年 教会祭

テーマは「ひとつになろう」

各言語共同体とともに

10月26日(日)11時より、主聖堂にて高祖敏明主任司祭の主司式、9人の神父の共同司式で国際ミサが行われました。多様な文化や言語を背景にもつ人々が一堂に会して、心を一つにしたミサはマリア聖堂にライブ中継され、YouTube配信も行われました。ミサ後は各国料理やコーヒーなどが頒布され、ヨセフホールでは数々のパフォーマンスと青年によるローマ巡礼の報告、そして、6言語によるリビングロザリーが教会祭の最後を飾りました。

国際ミサ

年に一度の国際ミサは多様な国の信徒が、ともに主の食卓を囲み、神を賛美する貴重な機会です。この日

のために作成された式次第で、ともに同じミサにあずかりました。日本語、英語、スペイン語、ベトナム語での朗読や共同祈願、聖歌が歌われ、奉納も各言語共同体の代表が行いました。

説教も4人の神父が日本語、英語、スペイン語、ベトナム語で行い、最初に柴田潔神父が話されました。説教は以下の通りです。

「40年前、大学2年生だった私は生きる目標がわからなくて聖イグナチオ教会の朝ミサに来ました。ミサが終わった後、ご婦人が声をかけてくださいました。『あなたの願い事が叶うといいわね』。初めて教会に来た『私のた

めに祈ってくださいる』。教会は『祈ってくださいる場所』。それが最初の私の聖イグナチオ教会の体験でした。

今は、中間期生のソアレス神学生のために、8人の信者さんが日本語を教えてくださいています。日本語検定に合格し、この教会で司祭叙階されるように応援して下さっています。

出かけることも大切にしています。先週は奉仕者と4名の方の塗油に伺いました。ご聖体は誤嚥の危険があるので、聖体拝領が難しい方には御血をご用意しました。ある方にスプーンに数滴、御血を拝領させていただきました。すると『もう少し良かったのかしら』と、おかわり

を望まれ、場が和みました。今、私たちがこの教会で体験していることを集めたら、どれほど豊かになるでしょう。小さな一人を大切にその体験が集まって、一つになっていく。聖イグナチオ教会の素晴らしさに感謝して、さらに発展させていきましょう」

フードコーナー

回廊ではベトナム、フィリピンやミャンマーの温かな料理やお菓子、テレジアホールではサンドイッチやコーヒーなどが頒布されました。



▲ベトナムのフォーと春巻き

インターナショナル
パフォーマンスプログラム

13時からヨセフホールで行われました。高祖神父が

「今年は『ひとつになろう』をテーマに進めます」と宣言され、『アーメン・ハレルヤ』の合唱で開始。続いて英語圏の聖堂係によるダンス、国際青年会のコーラス、スペイン語圏のハビエル・ガルド神父と信徒たちによる歌など、味わいのあるメロディーを堪能しました。また初参加のアフリカ圏の皆さまによるコーラス、ベトナム共同体による若さに満ちあふれたダンスなど、充実した内容に魅了されました。

最後に、2025年聖年「青年の祝祭」に当教会から派遣された若者たちが、スライドで各国の若者たちと交流した感動の体験を報告しました。

リビングロザリー

今年の10月のリビングロザリーは教会祭と同日の開催でした。小雨まじりの中、15時半から岐部ホール下で行われました。「祝福された母マリアよ、希望で私たちを満たしてください」をテーマにスペイン語・日本語・英語・ミャンマー語・ベトナム語・タガログ語でロザリオの祈り（栄えの神秘）と聖歌が捧げられました。言語グループごとに手にした色とりどりの布を、それぞれの言葉の祈りに合わせて結び、ロザリオの輪となってひとつにつながりました。教会祭のテーマの締めくくりにふさわしい、まさに多言語共同体とともに

にひとつになれたリビングロザリーでした。

祈りの輪に参列された高祖神父は「今日のリビングロザリーは『ともに歩む教会』の姿です。これからともに手を携えて歩んでいきましよう」と話され、参加者に祝福を授けられました。

教会行事

9月中旬から11月に行われた主な教会行事をご紹介します。

●子どもと高齢者とともにささげるミサ

9月14日（日）10時より、山内豊神父主司式のもと行われました。奇数月第2日曜は「子どもとともにささげるミサ」ですが、この日は初めて高齢者の方々とともに捧げました。

山内神父は説教の中で「人生は十字架を背負っていく道で、私たちは生まれた時から十字架を背負っています。生まれる場所や親は選べません。貧しい家で生まれた人もいるし、生まれつき体が弱い人もいます。最初は小さいですが、途中で病気に

なったり、結婚相手や子どもを持てばいろいろな十字架を背負うことになります。

けれども、その十字架は「私」を形づくるものです。それによって清められ、神の子となっていくます。人生は山登りに例えられるかもしれせん。登りながらいろいろなものを身につけ、帰る時は降りなければなりません。高齢者は、病気や肩書などいろいろなものを失っていくます。その中で唯一残るのは神への信仰で、それしか持つていけません。死を越えたらすばらしいものを持つていけることを心に留めましょう。

高齢者の方々と尊敬し、心から感謝し、最後まで道のりを歩めるよう祈りましょう」と話されました。

●長寿を祝うミサと長寿の集い

10月18日（土）12時から、「長寿を祝うミサ」が高祖敏明神父主司式により行われ、ミサ終了後に、司式をした4名の司祭により病者の塗油が授けられました。

その後、ヨセフホールに場所を移して、「長寿の集い」が行われました。180名ほ

どが参加し、サトル・ノ・オチヨア神父による乾杯の挨拶で、「高齢者は教会の富」とのお祝いの言葉が贈られました。紅白のボルボロンなどのお菓子と、お茶やワインなどの飲み物を楽しみながら、スライド上映や、高齢者が活躍するグループの紹介などがあり、会は和やかに進行了ました。聖歌『自分をささげる祈り』を、作曲者でもある首席オルガニストの浅井寛子さんの指導により「聖歌を歌おうグループ」とともに歌い、お祈りをしてお開きとなりました。



▲ 病者の塗油

●七五三祝福式

11月9日（日）、「子どもとともにささげるミサ」の中で45名の七五三の子どもの祝福式が行われました。朝早い時間にもかかわらず、

お着物を着た子どもたちもおり、聖堂はとても華やかな雰囲気になりました。緊張した表情を見せながらも、教会学校の子どもたちも、奉仕者として立派に役割を果たし、いつもは年下の7歳の子どもたちも、この日ばかりはお兄さん・お姉さんとしてミサを支えました。

今回の祝福式は、今年度初めて「子どもとともにささげるミサ」の中で行う新しい試みでしたが、聖イグナチオ教会の共同体全体で子どもたちの成長を喜び、神さまの祝福を願う温かな時間となりました。これからも子どもたちが信仰のうちに健やかに成長していけるよう、皆さまのお祈りと見守りをどうぞお願いいたします。

教会活動連絡会便り

2024年度の「教会活動連絡会議」で、「教会活動連絡会の機能・運営の強化」について、対話を重ねてきました。前号に引き続き、当教会にある連絡会を紹介します。

行事連絡会

行事はシノダリティの宝箱

行事連絡会は、当教会の定める教会行事を具体化して実施する活動グループで構成され、奇数月の教会活動連絡会議後に定例会議（必要に応じて臨時会議）を開催しております。

行事連絡会が関わる教会行事は、洗礼お祝い会、歓送迎会、堅信お祝い会、長寿の集い、教会祭、クリスマスライブ、新年祝賀会です。

お祝いするのは、教会の新しい仲間、当教会に來られたまたは当教会での務めを終えられる聖職者、堅信の秘跡で新たな使命を受けた信徒、教会を支えてくださった大先輩、主の降誕の記念に集う人々、当教会に集うすべての人々、というように教会

行事ごとに多様です。そして、集まった信徒がキリストのもとに共同体としてつながるために、当教会を導いてくださる聖職者および信徒評議員の皆さまにご指導、ご協力をいただいております。

2020年からのコロナ禍では、教会行事は中止、またはオンライン開催という苦難を経験しました。2021年から感染対策を工夫しながら教会行事を少しずつ再開し、2024年によりよく全面的に制限を解除しました。主日の日本語ミサは、まだコロナ禍以前の参加者数まで回復していない一方で、外国語圏ミサはコロナ禍前の参加者数を超え、日本語ミサの倍以上になりました。

行事連絡会はこのような変化を踏まえ、教会行事を単にコロナ禍以前の形に戻すのではなく、シノダリティ（ともに歩む教会づくり）に

根差して、外国語圏との協働を進めてまいりました。

かつて旧聖堂の時代には、奉仕部が少人数で教会行事全般に対応できたのですが、現聖堂へ建て替えた理由でもある信徒数の急激な増加は、奉仕部の対応能力を超え、教会行事は分業化を余儀なくされました。典礼関係は「マルタとマリアの会」に、典礼以外の一般行事は「EWG」「料理グループ」に受け継がれました。

現在、行事連絡会を構成する活動グループは、教会行事に特化した2グループ（EWG、料理グループ）と、独自の活動を行いながら教会行事に協力する5グループ（マルタとマリアの会、メリエンダ、ポルボロン会、活け花グループ、受け皿グループ）の計7グループです。



▲2025年新年祝賀会

EWG

Event Working Group

（イベント・ワーキング・グループ）の略で、当教会の聖職者、信徒評議員、関連する活動グループ、外国語圏と連携しながら、教会行事の企画、立案、運営を主導しております。

料理グループ

教会行事にて、安心して美味しく召し上がっていたいただけるような手作りの軽食を提供しております。

マルタとマリアの会

教会行事の典礼関係を中心に裏方として支え、「マルタ」の愛称で教会のいたるところで活動しています。

メリエンダ

名付け親であるルイス・カンガス神父が日本共助組合（目的は信徒の日常の経済問題の解決。現在はない）の焦げ付き解消のために考案されました。現在はアジアホールで毎週開かれていた約50年続く喫茶・軽食の憩いの場です。教会行事では、スペイン伝統料理のトル

テリアをシスター直伝の作り方で提供しております。

ポルボロン会

結成から50年近く続き、コロナ禍明けから教会行事にてスペイン伝統のお菓子ポルボロンをシスター直伝の作り方で提供しております。

活け花グループ

聖堂の花活けを担当しています。教会行事では目的や会場の状態に配慮して、活け花、花束をアレンジして提供しております。

受け皿グループ

新受洗者向けオリエンテーションを実施しております。2024年度から会場設営、飲食提供に行事連絡会が協力しております。

輝く共同体をめざして

今後はさらに、インターナショナル交流や教会音楽に取り組むグループに是非ご参加いただきたいです。

行事連絡会は、これからも当教会の歩みに寄り添いながら、シノダリティに根差して、輝きを放つ共同体づくりに貢献してまいります。

●宣教司牧評議会からのお知らせ●

(11月6日開催)

- ・主聖堂の火災報知器交換は計画通り行われた。
- ・空調・電気設備監視制御盤の交換を予定。
- ・主聖堂の外壁タイルの調査を実施。補修が必要な箇所は、予備のタイルで対応できる見込み。

●2026 年度 信徒評議員候補者推薦のお願い●

宣教司牧評議会は、司祭団、シスター、信徒評議員により構成され、当教会における基本的意思決定の場として位置づけられています。当教会所属信徒の中から、司祭団と協働し教会全体の活動を担っていただける方の推薦をお願いいたします。任期は2年です。

詳細は推薦用紙をご確認ください。

推薦受付期間：2025年12月7日(日)～2026年1月11日(日)

●麹町教会100周年プラン準備委員会からのお知らせ●

1. 『信仰のしおり』アンケートのお願い

●●● ～100周年プラン キックオフに向けて～

当教会信徒向けの信仰と教会生活の小冊子『信仰のしおり』(2013年発行)について、皆さまのご意見を求めるため、シールアンケート・紙アンケート・Web アンケートの3種類の方法で、アンケートを実施中です！どれか1つの方法でご参加をお願いいたします。回答期限は12月21日(日)です。

詳細は「主任司祭からの説明」「アンケートについてのお知らせ」、閲覧用『信仰のしおり』の下記QRコードからご覧ください。

主任司祭からの説明



https://ignatius.gr.jp/100th_plan/questionary_Fr.koso.pdf

アンケートについてのお知らせ



https://ignatius.gr.jp/100th_plan/questionnaire1.pdf

閲覧用『信仰のしおり』



<https://ignatius.gr.jp/news/touch.html>

2. 2026年度本委員会の立ち上げに向けて、新委員候補者の推薦をお願いいたします。
- 詳細は推薦用紙をご確認ください。

推薦受付期間：2025年12月7日(日)～2026年1月11日(日)

●クリスマスミサと元旦ミサの時間●

- ・12月24日(水) 日本語(予約制) 15:00、17:00、19:00
ベトナム語 17:00、19:30 英語 21:00
- ・12月25日(木) 主日と同じ時間(予約なし)
- ・1月1日(木) 0時と主日と同じ時間

*詳細はホームページ、チラシでご確認ください。

●クリスマス・年末年始の案内所●

- ・12月24日(水) 11:00～21:00
- ・12月25日(木) 9:30～18:00
- ・12月26日(金) お休み
- ・12月27日(土) 11:00～18:00
- ・12月28日(日)～1月5日(月) お休み
- ・1月6日(火)～通常通り

●年末年始の教会事務室・クリプタ●

- ・12月26日(金)～1月5日(月)まで通常業務はお休みです。また、信徒会館もこの期間は19:00閉館となります。
- ・証明書などの発行依頼はお早めにお申し出ください。
- ・クリプタ申込、納骨に関する業務は12月8日(月)～1月5日(月)までお休みです。お参りは平常通り9:00～16:00までできます。

●翻訳奉仕者から●

10月31日(金)に「翻訳者の集い」を開催しました。教会の多言語対応を支える翻訳者の慰労と初顔合わせの場となり、約20名が参加、半数は翻訳者・翻訳コーディネーターでした。翻訳・通訳の働きは、発行物やポスター、ミサ中の案内、ウェブコンテンツ、教会学校など多岐にわたり、需要が高まっています。これまで望まれてきた「教会公式翻訳チーム」(翻訳窓口)は未整備のままでしたが、この機会に翻訳者同士のコミュニティづくり、人材募集と育成、AIツールの導入など、教会と共に進め、体制の基盤を築いてまいります。

「伝えたい、言語の架け橋になりたい!」。これが私たち翻訳奉仕者の内にある信仰の炎です。

●枝の回収●

本年4月の「枝の主日」で祝福された枝を1月17日(土)から1月25日(日)の日程で回収いたします。

12 月の典礼と行事

5 (金) 初金曜日	祈りの集い 19:00
7 (日) 待降節第 2 主日	宣教地召命促進の日・献金
8 (月) 無原罪の聖マリアの祭日	東京カテドラル献堂記念日
10 (水)	傾聴ルーム 11:15~15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00 ミサ後
14 (日) 待降節第 3 主日	
17 (水)	クリプタに安置され12月に命日を迎える方々のためのミサ 12:00 『社会問題とカトリック教会の考え 2025年度連続セミナー』 18:30 ヨセフホール シノドスの教会 - 誰も排除されない、誰とも共に歩む教会を目指して - 教会での排除とは、共に歩むとは -まとめと展望- 講師：梶山義夫神父 イエズス会社会司牧センター所長
18 (木)	ヤングオールドクリスマスコンサート 13:00 ヨセフホール
20 (土)	子どもと家庭のクリスマスミサ 15:00
21 (日) 待降節第 4 主日	
24 (水) 降誕祭前夜(クリスマスイヴ)	降誕祭前夜ミサ 日本語 15:00 17:00 19:00(キャンドルサービス) ベトナム語 17:00 19:30 英語 21:00
25 (木) 主の降誕の祭日	ミサ 主日と同じ時間
28 (日) 聖家族の祝日	聖年閉幕ミサ(東京カテドラル)

1 月の典礼と行事

1 (木) 神の母聖マリアの祭日	元旦ミサ (0 時と主日と同じ時間)	世界平和の日
2 (金) 初金曜日		
4 (日) 主の公現の祭日	聖年閉幕ミサ(各主日ミサ)	
11 (日) 主の洗礼の祝日	子どもとともにささげるミサ 10:00 教会案内ツアー ①10:30 ②11:00 受付 9:30 ~ 新年祝賀会 11:00 20歳の記念ミサ 18:00	
14 (水)	傾聴ルーム 11:15~15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00 ミサ後	
17 (土)	新受洗者と代父母のためのフォローアップ講座 15:00 ヨセフホール	
18 (日) 年間第 2 主日	日曜サロン・ミニオリエンテーション(受け皿) 11:00~12:30 ヨセフホール サントニーニョフェスティバル 12:00 ミサがわかるセミナー 13:00 ヨセフホール 「交わりの儀と派遣の祝福」 講師：宮越俊光氏 1月18日~25日キリスト教一致祈禱週間	
21 (水)	クリプタに安置され 1 月に命日を迎える方々のためのミサ 12:00	
25 (日) 神のことばの主日	日曜サロン・ミニオリエンテーション(受け皿) 11:00~12:30 ヨセフホール 教会活動連絡会議 13:00 ヨセフホール	世界こども助け合いの日・献金 ケルンデー
28 (水)	傾聴ルーム 11:15~15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00 ミサ後	

*最新情報は聖イグナチオ教会ホームページでご確認ください。

*『マジス』2月号は2月8日(日)発行予定です。

主任司祭：高祖 敏明

助任司祭：ボニー・ジェームス
グエン・タン・ニャー
サトルニノ・オチョア
柴田 潔

協力司祭：ジェリー・クスマノ
ハビエル・ガラルダ
グエン・ヴァン・テー
関根 悦雄
マヌエル・シルゴ

神 学 生：アントニオ・マリオ・ダ・
コスタ・ソアレス

シスター：マルセラ・ロサス
フロール・フロレセ
ジェスリン・ブエンディア
ディン・グエン・ゴック・
トウエン

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

ミサの時間

【平日】主聖堂

7:00/12:00/18:00

【土、日曜日】主聖堂

土曜 18:00/19:30 (ベトナム語)

日曜 7:00/8:30/10:00/18:00

12:00 (英語) /13:30 (スペイン語) /

15:00 (ベトナム語)

【月の第 1 日曜日】マリア聖堂

12:30 (ポルトガル語) /16:00 (ポーランド語)

【月の第 2・4 日曜日】マリア聖堂

16:30 (インドネシア語)

カトリック麹町教会
(聖イグナチオ教会)

〒102 - 0083

千代田区麹町 6 - 5 - 1

TEL 03 - 3263 - 4584

FAX 03 - 3263 - 4585

<http://www.ignatius.gr.jp>



Linktree (リンクツリー)
リンクツリー (linktree) とは多
数のリンクをまとめて表示して
いるツールのことです。このQR
コードを読み取ると教会ホーム
ページ、教会ガイド、Twitter、
Facebook、Instagram、
YouTube へアクセスできます。

『マジス』へのご意見・ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。

*本文中の役職名等は、寄稿もしくは取材時のものです。